

# 学校教育施設再編計画 について

地域

のみなさん

これからの  
学校について  
ご意見をお聞かせください

通学路は  
安全じゃないと！

今年の小1年生は  
8人なの！？

中学校で  
なじめるか  
心配だわ

ほんとは  
サッカー部が  
よかった...

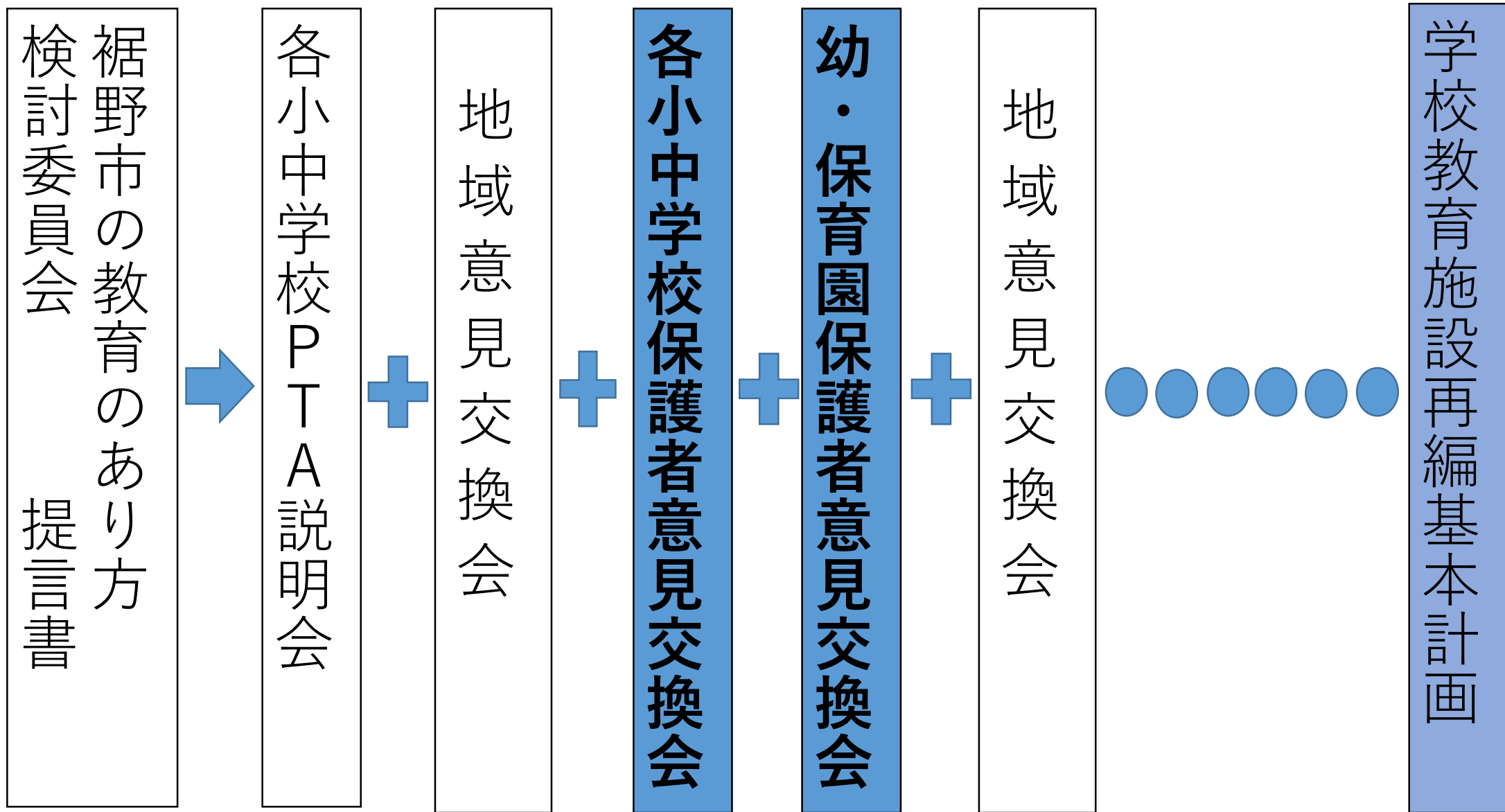
富岡地区

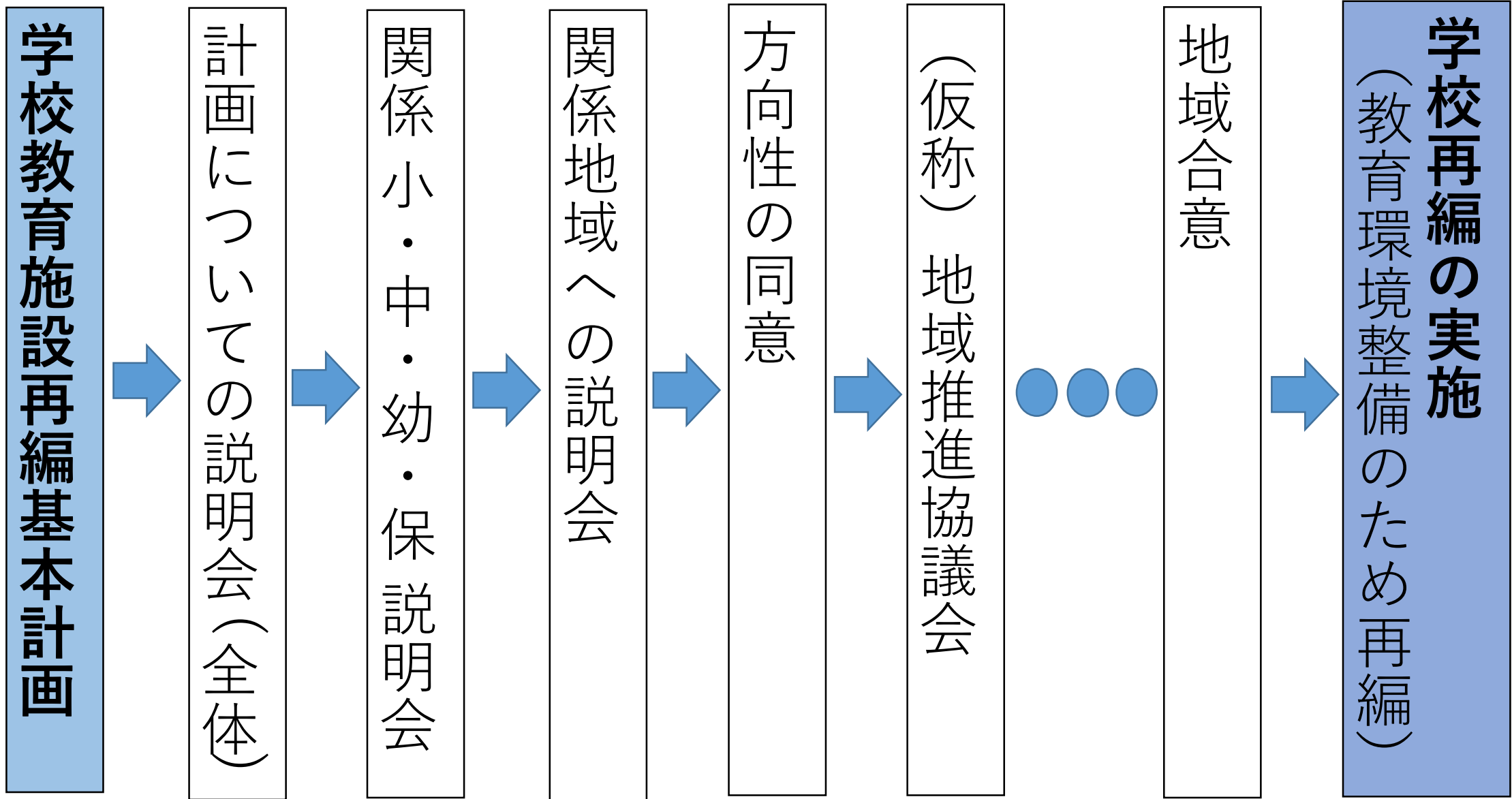
市は、望ましい教育環境  
を整えるため、市内の  
**小学校・中学校**の  
再編が必要だと考えてい  
ます。

## 望ましい教育環境：

義務教育段階の学校は、単に教科書の知識や技能を習得させるだけではなく、児童生徒が集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力を育み社会性や規範意識を身につけることができる。

市全体で、  
課題を解決するため、  
**学校教育施設再編基本計  
画**について、策定を目指  
しています。





# — 学校再編の検討が必要な理由 —

- 少子化による児童生徒数の変化  
（教育的観点）
- 学校施設の老朽化による施設整備に係る課題（F M的観点）

# ★学校施設の老朽化による施設 整備に係る課題（FM的観点）

※FM：ファシリティ・マネジメント  
公共施設等総合管理計画

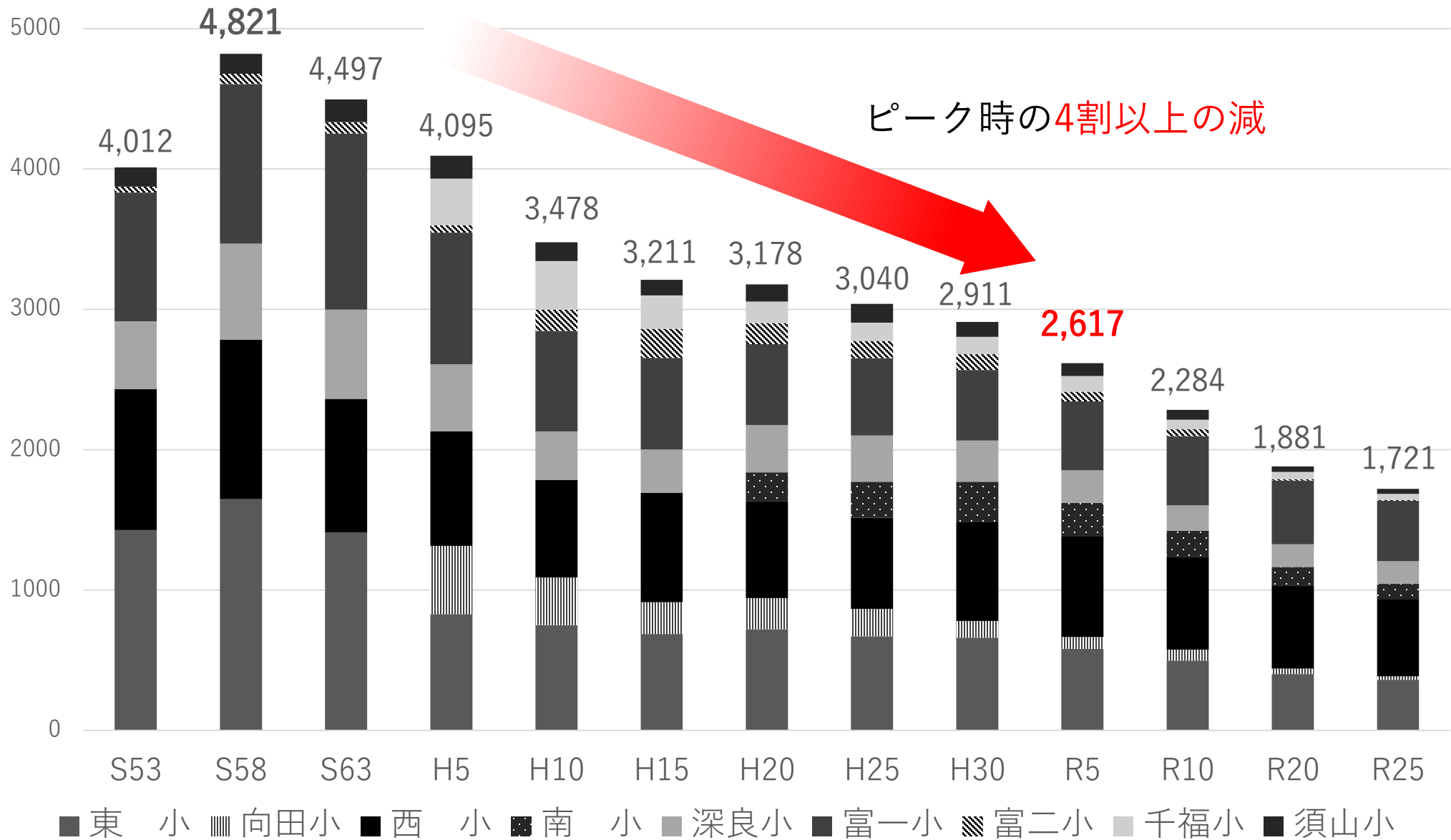


# 各市町の小中学校の数

令和3年9月末現在

市町名	人口	小学校数	中学校数	備考
三島市	107,091人	14校	7校	
御殿場市	86,876人	11校	6校	分校1校含む
<b>裾野市</b>	<b>50,566人</b>	<b>9校</b>	<b>5校</b>	
長泉町	43,505人	3校	2校	
清水町	31,972人	3校	2校	

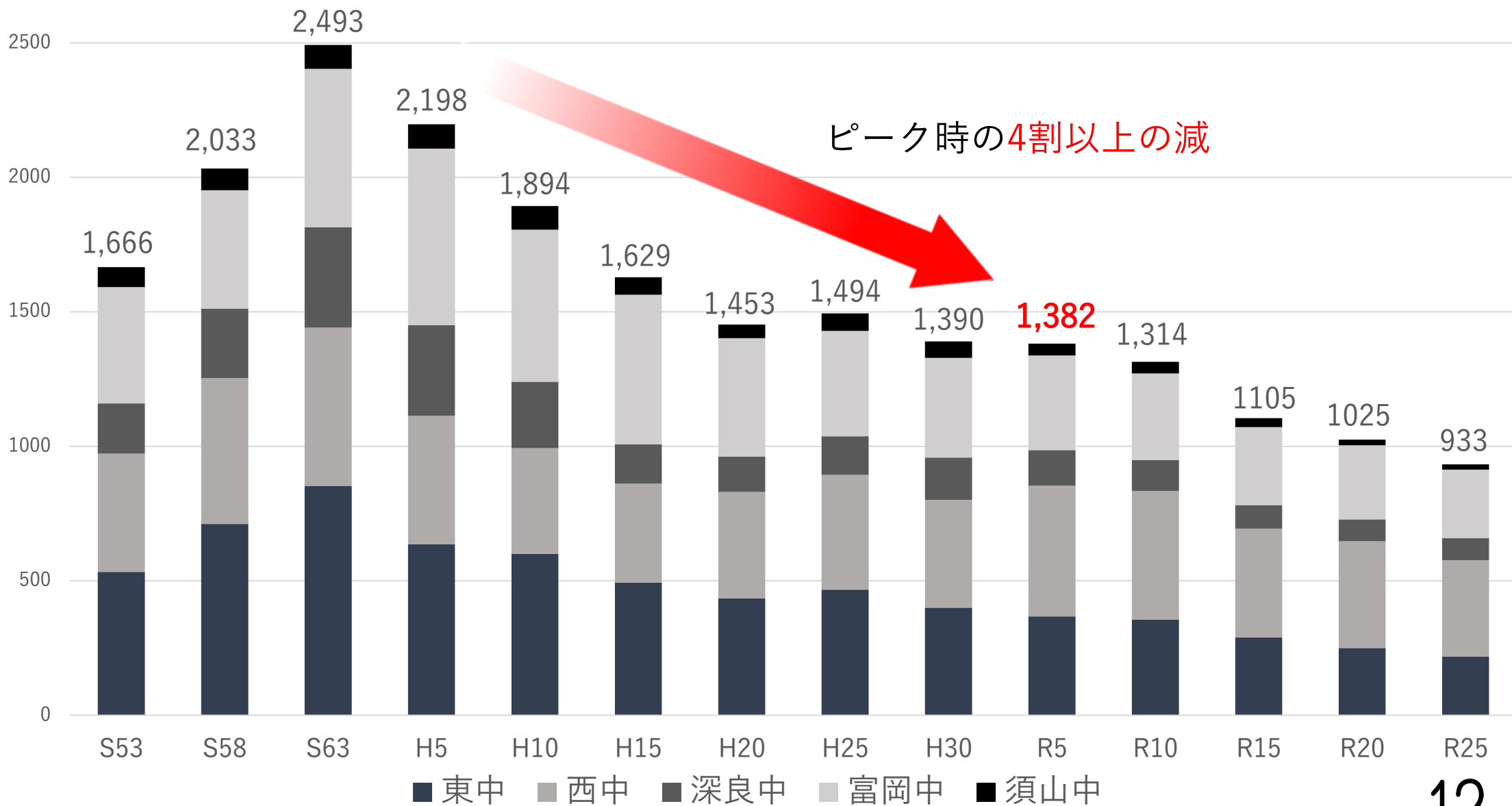
# 市内の小学生（児童数）は、ピーク時から著しく減少



# 小学校 施設の経過年数（築40年以上）

学校名			構造	階数	床面積（㎡）	築年数	経過年数	大規模修繕
東小	北校舎	東側	R C	3	959	昭和44	53	平成2
		西側	R C	3	918	昭和45	54	平成2
	南校舎	東側	R C	3	1,282	昭和50	47	平成27
		西側	R C	4	3,535	昭和54	43	平成15
西小	北校舎	東側	R C	3	2,538	昭和44	53	平成3
		西側	R C	3	556	昭和48	49	平成3
	南校舎	東側	R C	2	771	昭和44	53	—
		西側	R C	3	1,490	昭和55	42	—
深良小	校舎	西側	R C	3	1,583	昭和54	43	令和2
	体育館		S	1	753	昭和53	44	平成23
富一小	北校舎	東側	R C	3	1,137	昭和52	45	平成12
	南校舎	東側	R C	4	3,505	昭和56	41	令和2
	体育館		S	1	945	昭和55	42	平成21
富二小	校舎	東側	R C	2	1,316	昭和55	42	平成11
須山小	校舎	東側	R C	2	1,243	昭和56	41	—

# 市内の中学生（生徒数）は、ピーク時から著しく減少

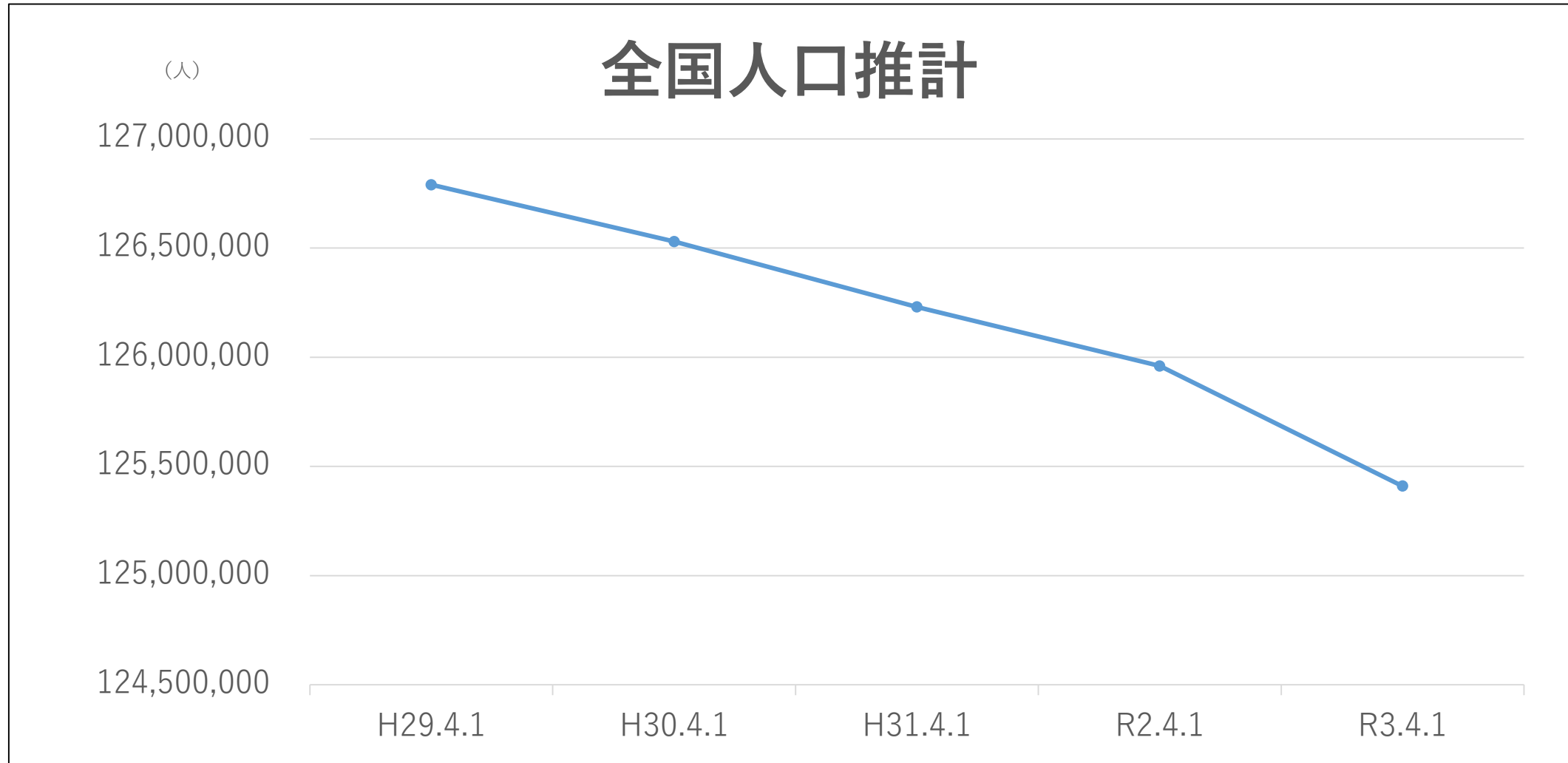


# 中学校 施設の経過年数（築40年以上）

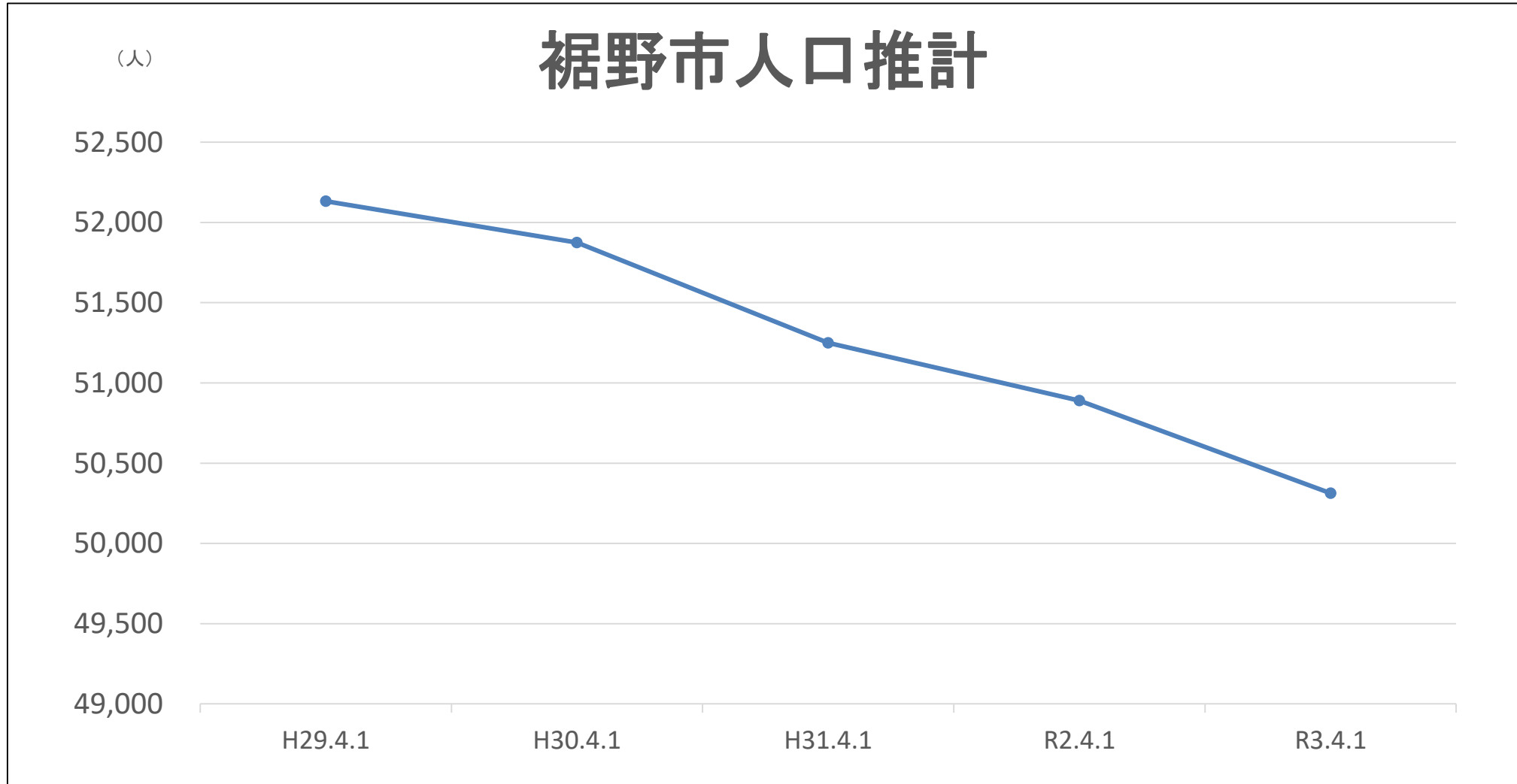
学校名		構造	階数	床面積 (m <sup>2</sup> )	築年数	経過年数	大規模修繕	
東中	北校舎	東側	R C	3	1,285	昭和52	45	平成9
		西側	R C	3	2,097	昭和51	46	平成9
	南校舎	東側	R C	2	1,122	昭和52	45	平成10
	体育館		S	2	1,098	昭和54	43	平成23
西中	北校舎		R C	3	2,325	昭和47	50	平成4
深良中	校舎		R C	3	3,167	昭和56	41	平成28
富岡中	北校舎	西側	R C	3	3,110	昭和42	55	昭和59

# ★少子化による児童生徒数の変化 (教育的観点)

# 実際の人口減少（少子高齢化）市人口の動き ①



# 実際の人口減少（少子高齢化）市人口の動き ②



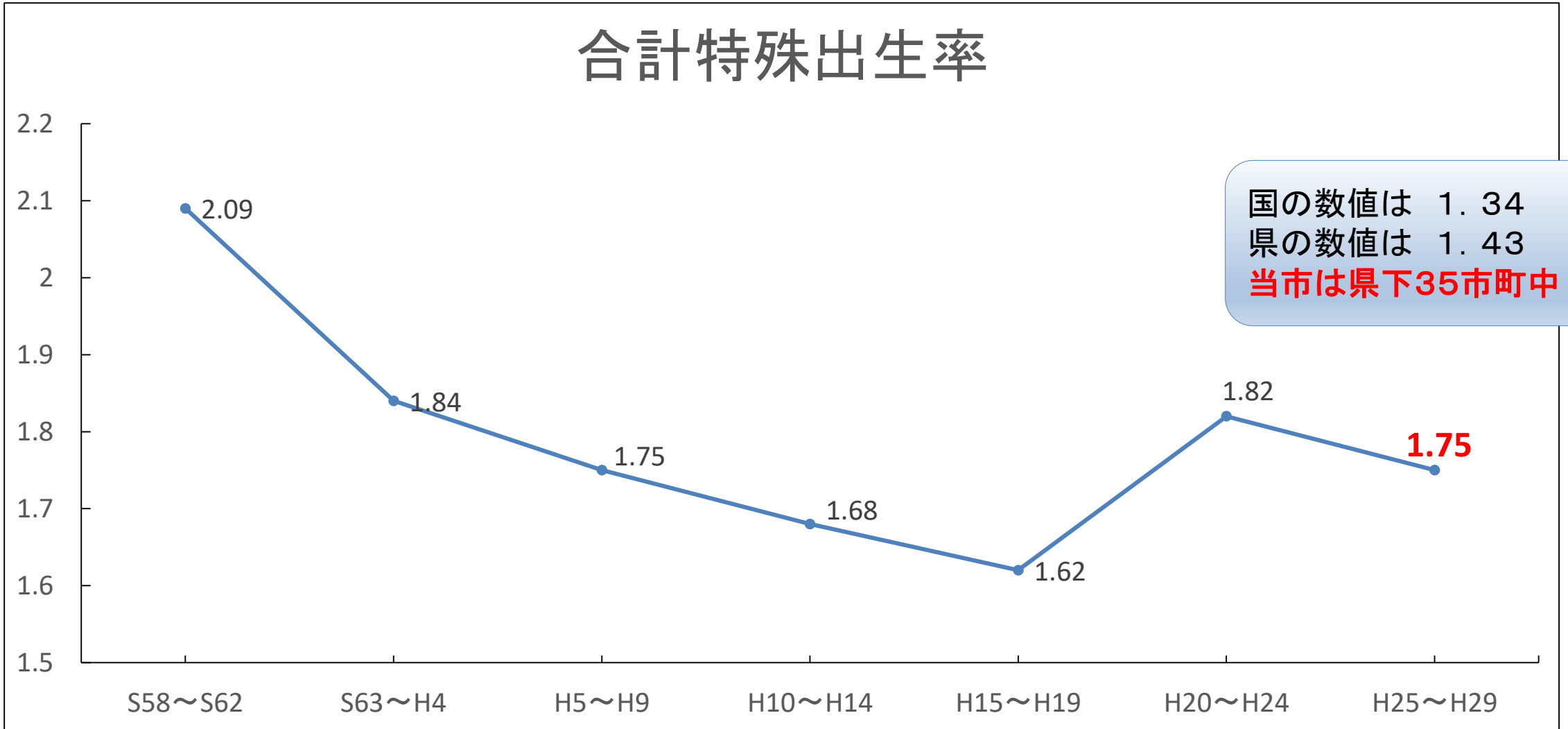


裾野市でも、いろいろな対策をしてきました。

- 企業誘致
- 住宅地の造成
- 乳幼児医療・子ども医療の軽減
- 保育料の軽減 等

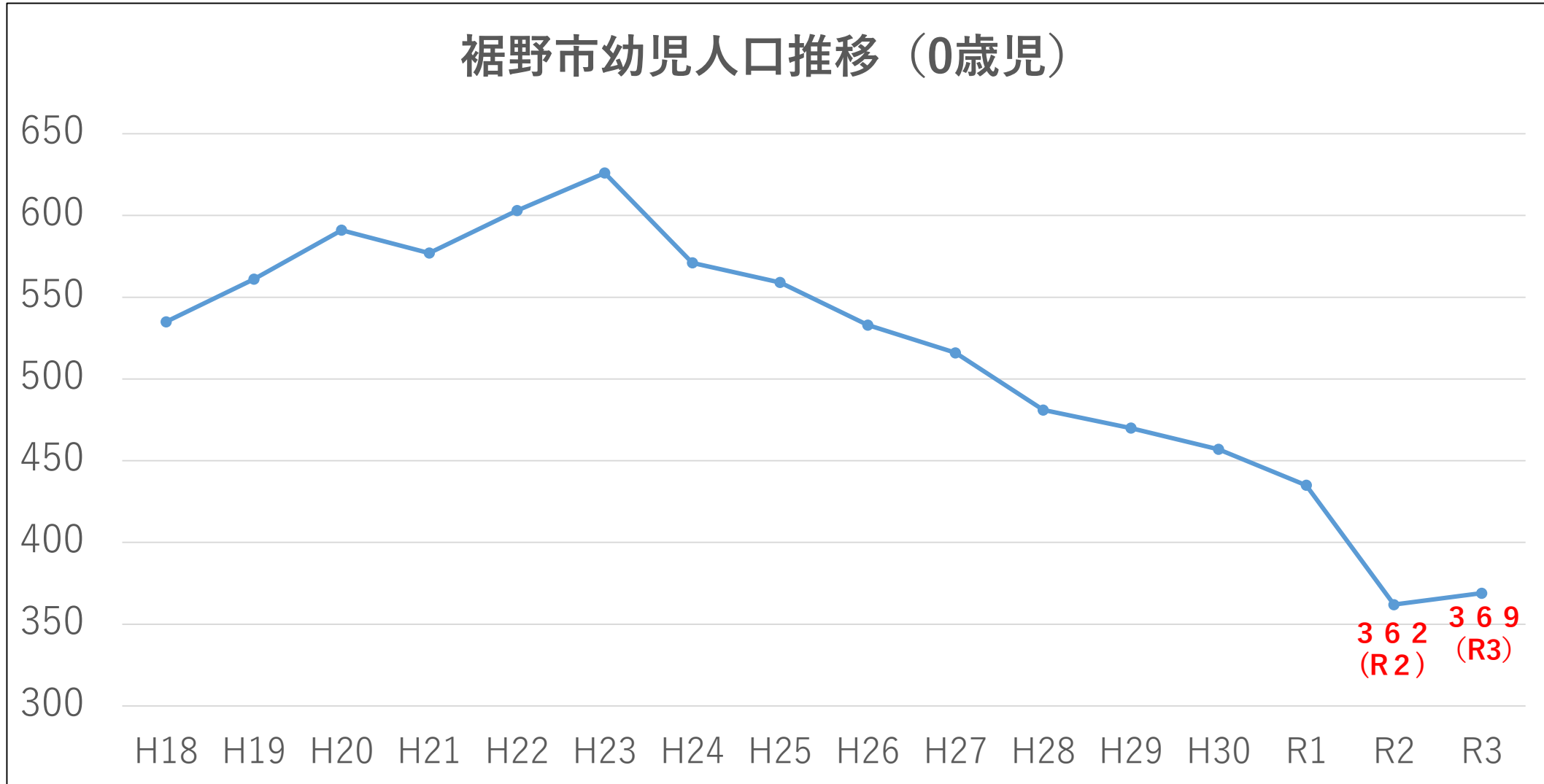
# 実際の人口減少（少子高齢化）市人口の動き ③

## 合計特殊出生率



# 実際の人口減少（少子高齢化）市人口の動き

④



## 令和 2 年度 生まれの子の学区別人数

小学校区	人数 (人)	中学校区	人数 (人)
東小	7 9	東中	8 6
向田小	7		
西小	1 1 3	西中	1 4 1
南小	2 8		
深良小	2 7	深良中	2 7
富岡第一小	8 4	富岡中	1 0 0
富岡第二小	7		
千福が丘小	9		
須山小	8	須山中	8
計	3 6 2		3 6 2

## 令和3年度 生まれの子の学区別人数

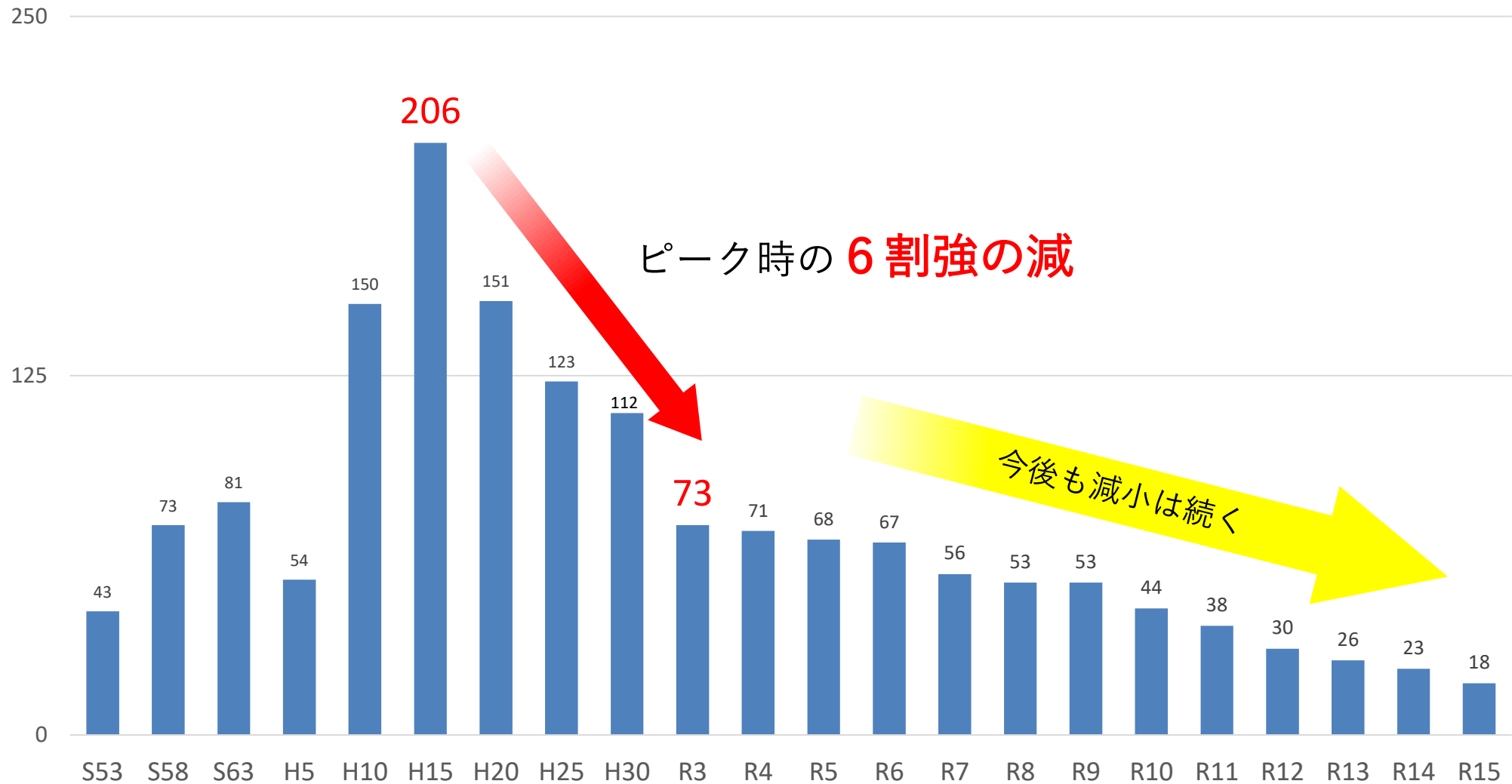
小学校区	人数 (人)	中学校区	人数 (人)
東小	79	東中	93
向田小	14		
西小	109	西中	144
南小	35		
深良小	27	深良中	27
富岡第一小	83	富岡中	97
富岡第二小	2		
千福が丘小	12		
須山小	8	須山中	8
計	369		369

# 富二小：令和9年以降は、複式学級の可能性

児童数		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
富岡第二小学校	1年	7	12	10	11	7	6	7	3	4	3	3	3	2
	2年	9	7	12	10	11	7	6	7	3	4	3	3	3
	3年	18	9	7	12	10	11	7	6	7	3	4	3	3
	4年	12	18	9	7	12	10	11	7	6	7	3	4	3
	5年	13	12	18	9	7	12	10	11	7	6	7	3	4
	6年	14	13	12	18	9	7	12	10	11	7	6	7	3
	計	73	71	68	67	56	53	53	44	38	30	26	23	18

富岡第二小学校児童数

# 富岡第二小ではピーク時より 6 割減



## 複式学級とは、

2つ以上の学年（年齢）をひとまとめにした学級（クラス）編成を指す。

国基準：複数学年で16人以下

県基準：複数学年で14人以下



# 千福小：近い将来、10人以下の学級が出てくる

児童数		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
千福が丘小学校	1年	19	25	12	7	11	9	9	12	10	11	10	10	10
	2年	15	19	25	12	7	11	9	9	12	10	11	10	10
	3年	20	15	19	25	12	7	11	9	9	12	10	11	10
	4年	22	20	15	19	25	12	7	11	9	9	12	10	11
	5年	24	22	20	15	19	25	12	7	11	9	9	12	10
	6年	27	24	22	20	15	19	25	12	7	11	9	9	12
	計	127	125	113	98	89	83	73	60	58	62	61	62	63

千福が丘小学校児童数

# 千福が丘小ではピーク時より 6 割減

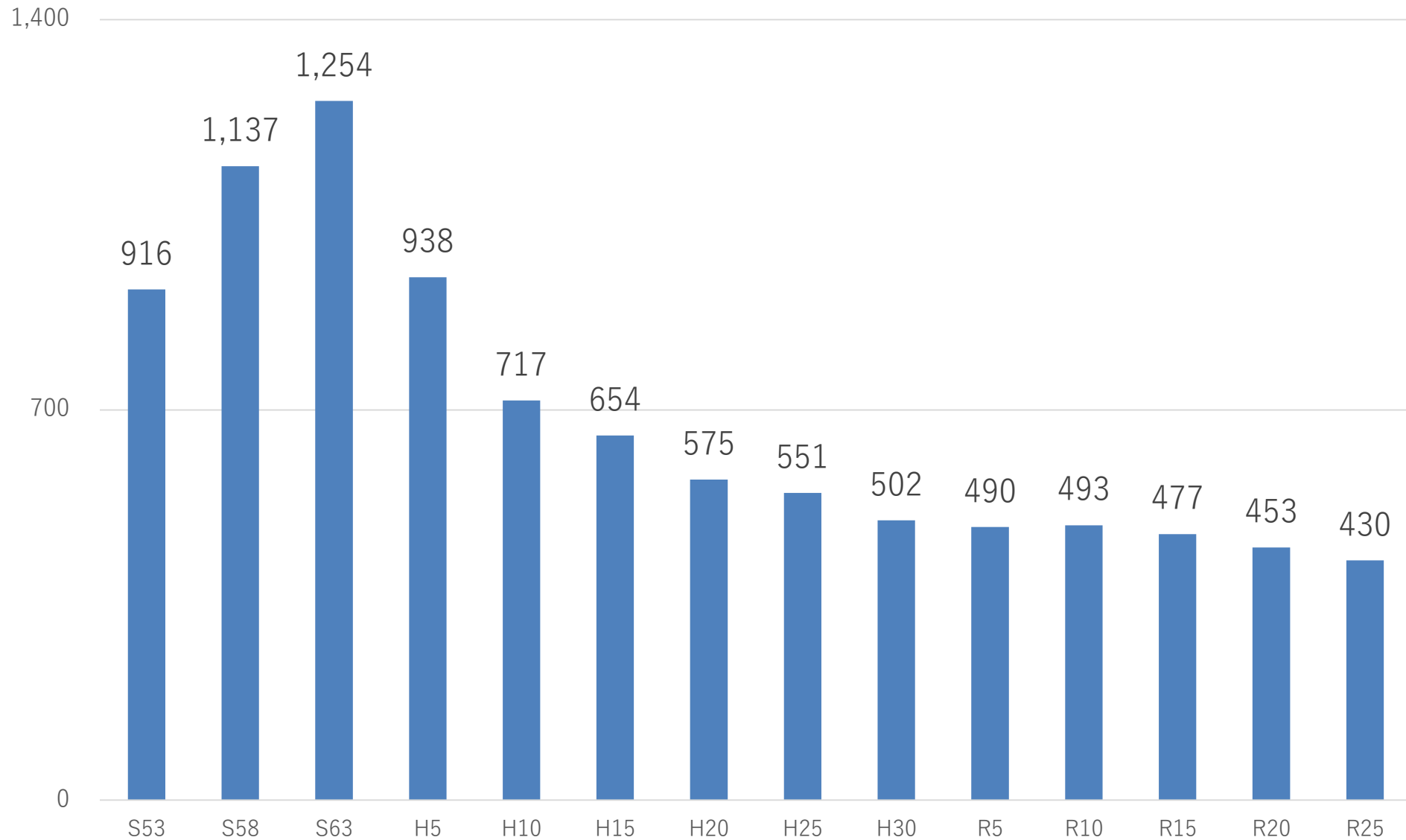


# 富一小：将来的には2学級の学年も

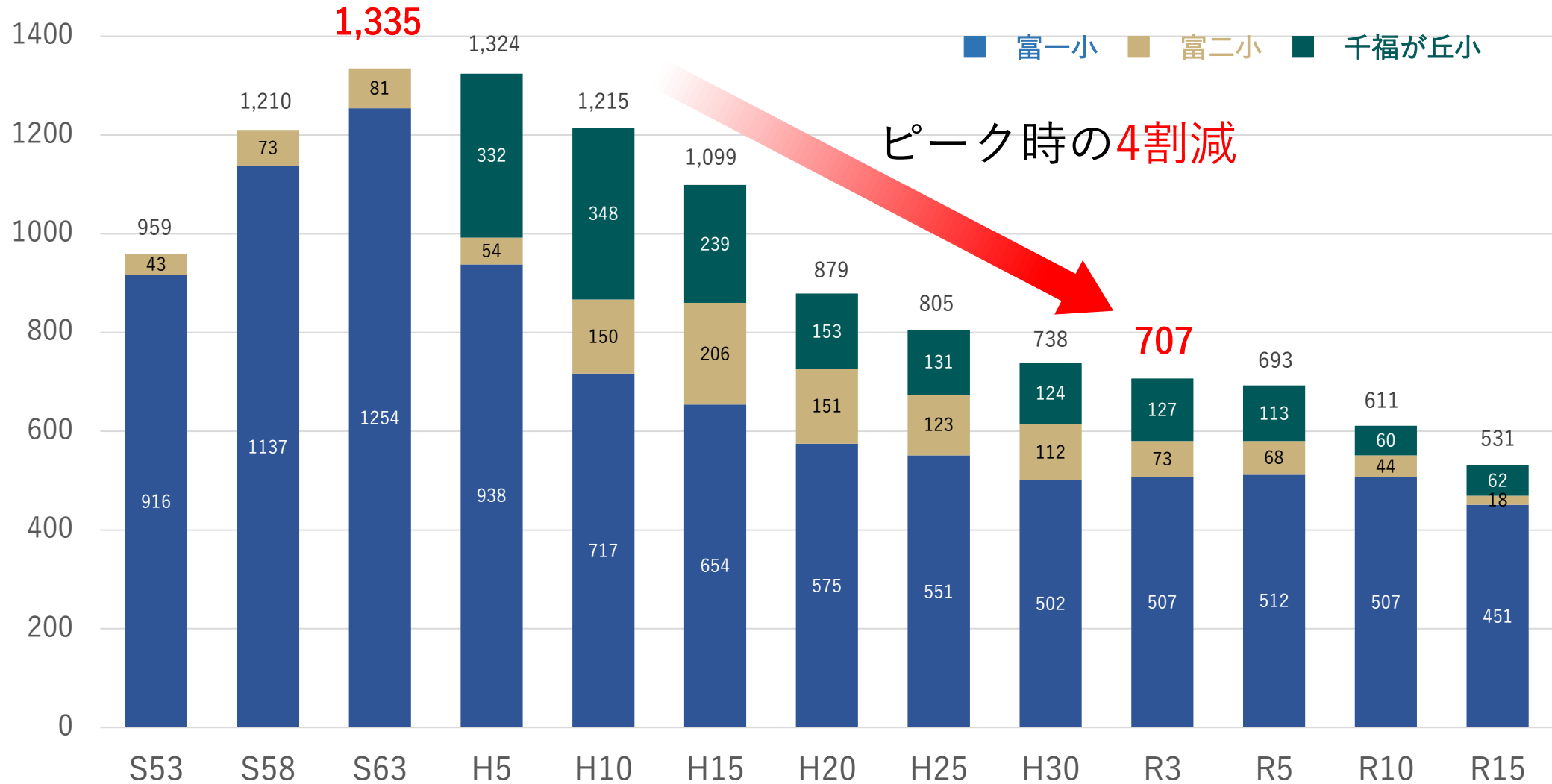
児童数	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R20	R25	
富岡第一小学校	1年	65 (2)	92 (3)	87 (3)	77 (3)	74 (3)	80 (3)	83 (3)	80 (3)	80 (3)	79 (3)	78 (3)	77 (3)	74 (3)	70 (2)
	2年	87 (3)	65 (2)	92 (3)	87 (3)	77 (3)	74 (3)	80 (3)	83 (3)	80 (3)	80 (3)	79 (3)	78 (3)	74 (3)	70 (2)
	3年	81 (3)	87 (3)	65 (2)	92 (3)	87 (3)	77 (3)	74 (3)	80 (3)	83 (3)	80 (3)	80 (3)	79 (3)	75 (3)	71 (3)
	4年	75 (3)	81 (3)	87 (3)	65 (2)	92 (3)	87 (3)	77 (3)	74 (3)	80 (3)	83 (3)	80 (3)	80 (3)	76 (3)	72 (3)
	5年	90 (3)	75 (3)	81 (3)	87 (3)	65 (2)	92 (3)	87 (3)	77 (3)	74 (3)	80 (3)	83 (3)	80 (3)	77 (3)	73 (3)
	6年	71 (3)	90 (3)	75 (3)	81 (3)	87 (3)	65 (2)	92 (3)	87 (3)	77 (3)	74 (3)	80 (3)	83 (3)	77 (3)	74 (3)
	計	469 (17)	490 (17)	487 (17)	489 (17)	482 (17)	475 (17)	493 (18)	481 (18)	474 (18)	476 (18)	480 (18)	477 (18)	453 (18)	430 (16)

富岡第一小学校児童数

# 富一小：ピーク時より6割減



# 減少傾向は、富岡地区でも同様に発生



# 向田小 近い将来、複式学級になる可能性がある

児童数		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
向田小学校	1年	8	11	13	11	6	13	7	6	7	6	7	7	7
	2年	13	8	11	13	11	6	13	7	6	7	6	7	7
	3年	16	13	8	11	13	11	6	13	7	6	7	6	7
	4年	18	16	13	8	11	13	11	6	13	7	6	7	6
	5年	20	18	16	13	8	11	13	11	6	13	7	6	7
	6年	14	20	18	16	13	8	11	13	11	6	13	7	6
	計	89	86	79	72	62	62	61	56	50	45	46	40	39

向田小学校児童数

# 須山小 将来的に10人以下が継続、 複式学級の可能性も

児童数	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
須山小学校	1年	14	13	12	16	14	15	8	9	8	8	8	8	8
	2年	20	14	13	12	16	14	15	8	9	8	8	8	8
	3年	15	20	14	13	12	16	14	15	8	9	8	8	8
	4年	18	15	20	14	13	12	16	14	15	8	9	8	8
	5年	12	18	15	20	14	13	12	16	14	15	8	9	8
	6年	18	12	18	15	20	14	13	12	16	14	15	8	9
	計	97	92	92	90	89	84	78	74	70	63	57	50	50

須山小学校児童数

# 小学校別 転入出データ (H28～R3)

	H28		H29		H30		H31 (R1)		R2		R3		計 (6年間)		
	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	増減
東小	13	13	14	20	15	13	7	10	14	10	6	10	69	76	-7
西小	18	14	12	16	16	23	16	17	21	15	6	27	89	112	-23
深良小	1	9	4	2	9	1	4	6	3	4	2	6	23	28	-5
富一小	15	20	17	26	11	16	8	17	9	18	12	19	72	116	-44
富二小			3	2	2	2		1	1	2	1	1	7	8	-1
須山小	4	3	4	3	4	3	2	4	2	6	3	4	19	23	-4
向田小		3		8	3	3	3	4		2	8	3	14	23	-9
千福小	5	5	1	1	1	6	4	2	4	6	4	3	19	23	-4
南小	7	10	6	9		7	1	8	1	6	2	9	17	49	-32
合計	63	77	61	87	61	74	45	69	55	69	44	82	329	458	-129



# 小規模校や複式学級での 学習的な課題点：

- 習熟度別クラスの編成
- グループワークの編成
- 教科担任制の開始

# 教科担任制：

(教科指導の専門性を持った教師による、  
きめ細やかな指導と中学校の学びに繋がる  
系統的な指導の充実の観点)

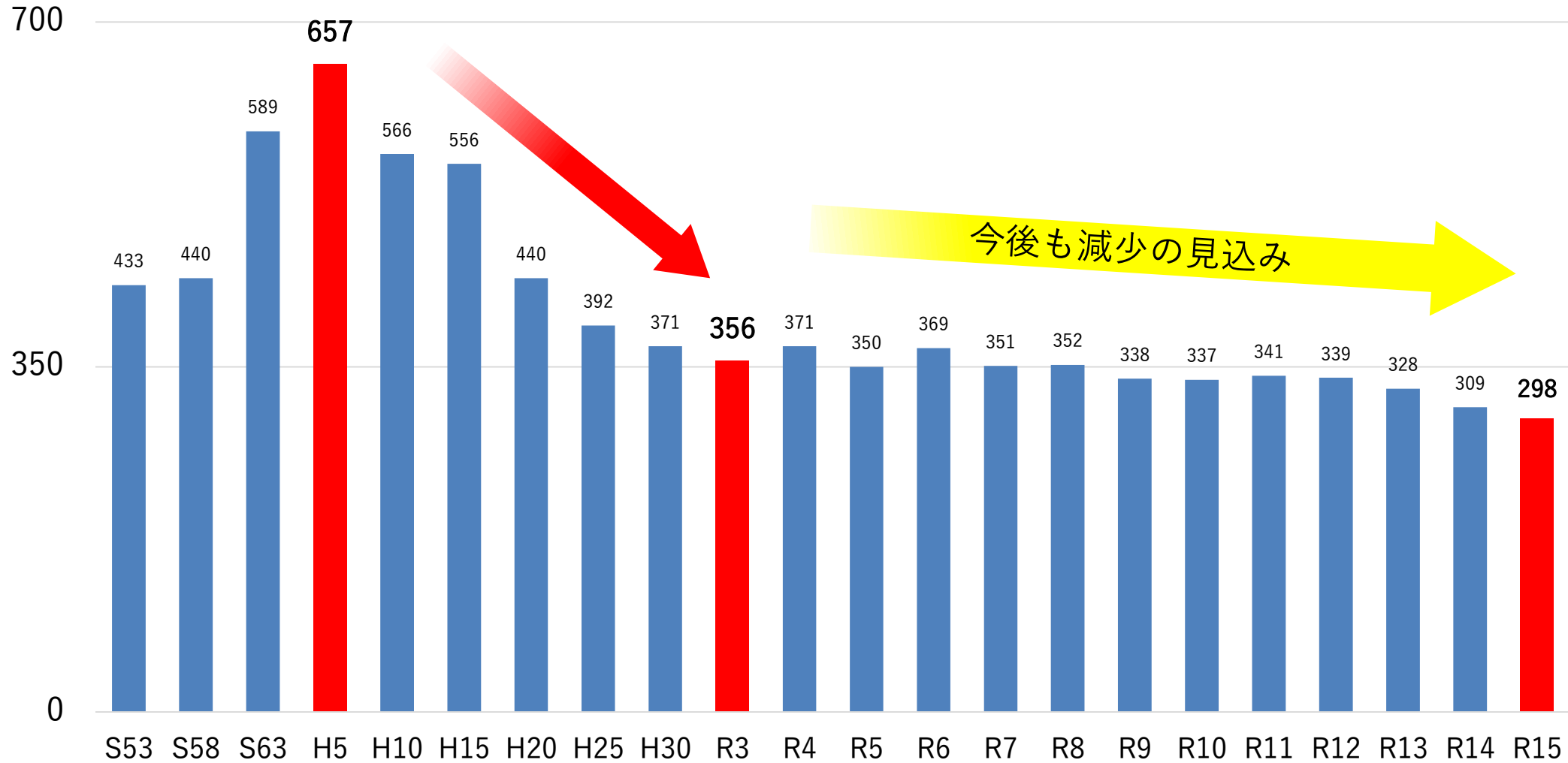
令和4年度から、小学校高学年でも教科担任制が始まりました。

# 富岡中：10年程度は、1学年3学級の安定した運営

生徒数	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
富岡中学校	1年	108	132	110	127	114	111	113	113	115	111	102	96	100
	2年	131	108	132	110	127	114	111	113	113	115	111	102	96
	3年	117	131	108	132	110	127	114	111	113	113	115	111	102
	計	356	371	350	369	351	352	338	337	341	339	328	309	298

富岡中学校生徒数

# 富岡中：R15には1学年100人以下の見込み



富岡中学校生徒数

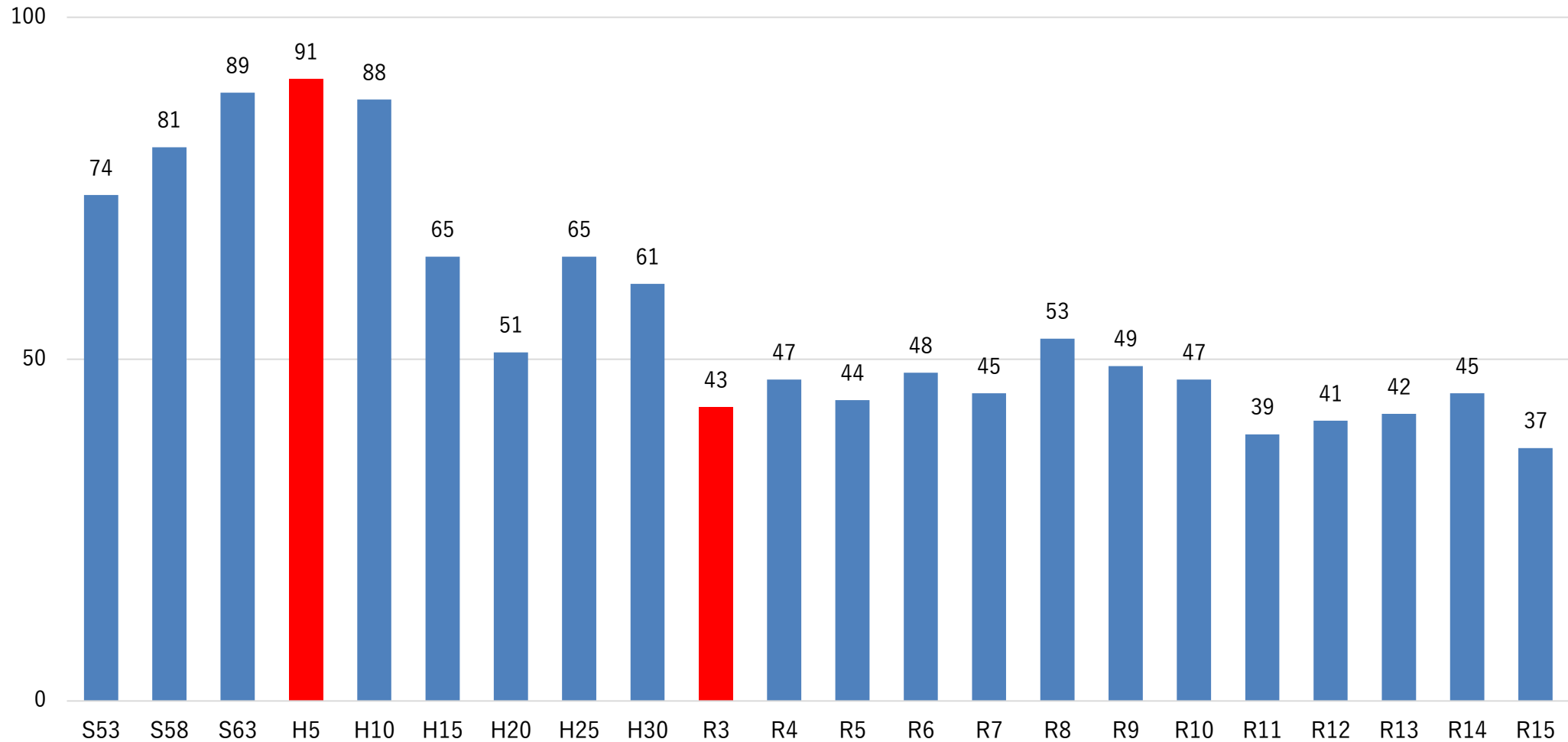
# 須山中学校でも減少傾向

～小学校1校・中学校1校のため、9年間同じ状況～

生徒数	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
須山 中 学 校	1年	14	18	12	18	15	20	14	13	12	16	14	15	8
	2年	15	14	18	12	18	15	20	14	13	12	16	14	15
	3年	14	15	14	18	12	18	15	20	14	13	12	16	14
	計	43	47	44	48	45	53	49	47	39	41	42	45	37

須山中学校生徒数

# 須山中：慢性的に全校生徒が50以下の見込み



須山中学校生徒数

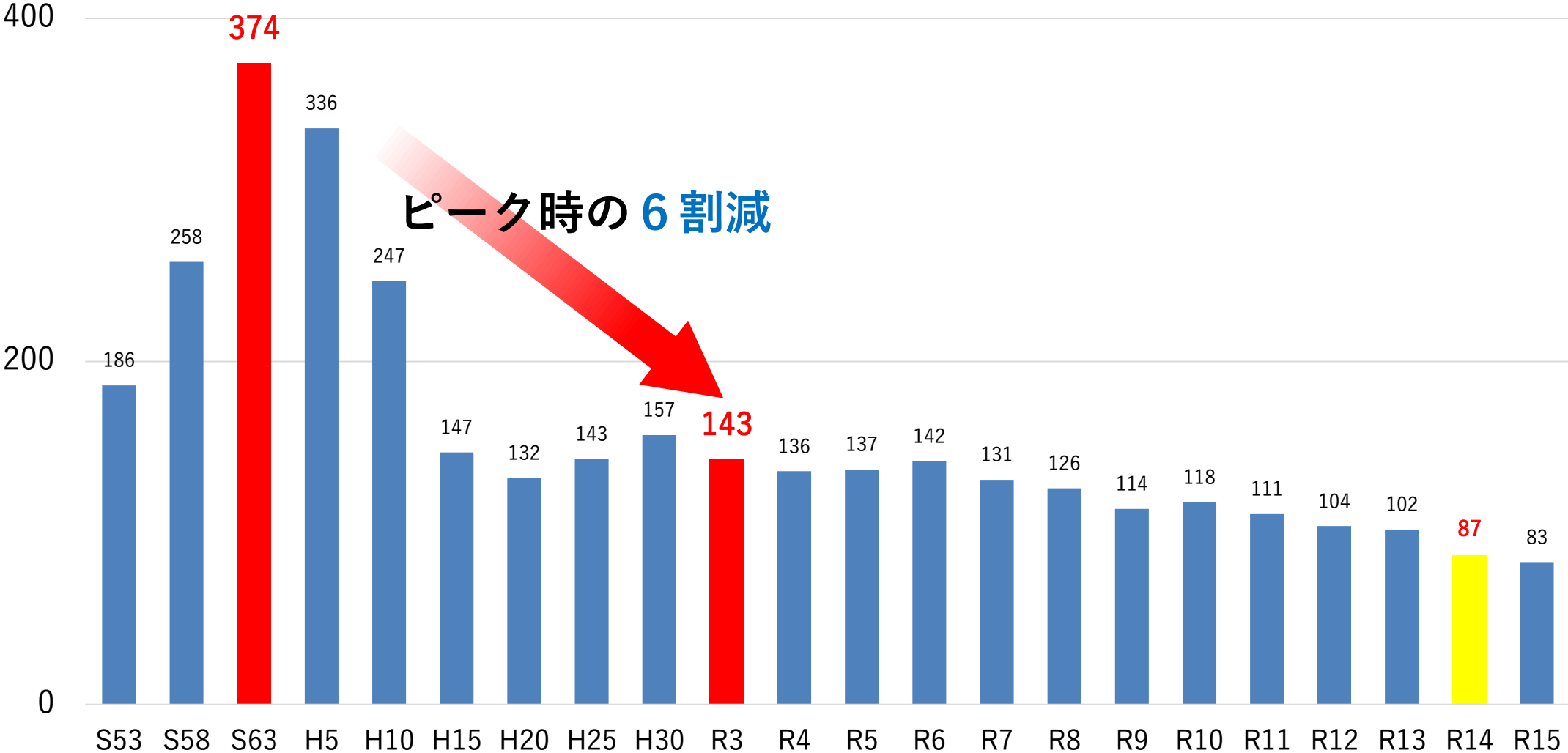
# 深良中学校でも同様に単学級増加

～小学校1校・中学校1校のため、9年間同じ状況～

生徒数		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
深良中学校	1年	45 (2)	45 (2)	47 (2)	50 (2)	34 (1)	42 (2)	38 (2)	38 (2)	35 (1)	31 (1)	36 (2)	20 (1)	27 (1)
	2年	46 (2)	45 (2)	45 (2)	47 (2)	50 (2)	34 (1)	42 (2)	38 (2)	38 (2)	35 (1)	31 (1)	36 (2)	20 (1)
	3年	52 (2)	46 (2)	45 (2)	45 (2)	47 (2)	50 (2)	34 (1)	42 (2)	38 (2)	38 (2)	35 (1)	31 (1)	36 (2)
	計	143 (6)	136 (6)	137 (6)	142 (5)	131 (4)	126 (4)	114 (4)	118 (4)	111 (4)	104 (3)	102 (3)	87 (3)	83 (3)

深良中学校生徒数

# 深良中：R14には全校生徒が100人以下の見込み



深良中学校生徒数



# 中学校別 転入出データ (H28～R3)

	H28		H29		H30		H31 (R1)		R2		R3		計 (6年間)		
	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	増減
東中	2	4	3	2		4	1	1	4	3	3	2	13	16	-3
西中	6	2	1	1	3	5		3	2	2		9	12	22	-10
深良中	1	3	1	1	3	1		1				1	5	7	-2
富岡中	2	4	5	4	3	1		5	3	4	4	1	17	19	-2
須山中	1	1			4		1	1	1	3			7	5	2
合計	12	14	10	8	13	11	2	11	10	12	7	13	54	69	-15

## 中学校進学割合（中学校別）

	進学先	H29	H30	H31	R2	R3	計
東中	生徒数（1年）	133	141	139	132	121	666
	私立等中学校	5	5	3	5	2	20
	割合	3.6%	3.4%	2.1%	3.6%	1.6%	2.9%
西中	生徒数（1年）	143	125	143	130	175	716
	私立等中学校	9	10	3	14	2	38
	割合	5.9%	7.4%	2.1%	9.7%	1.1%	5.0%
深良中	生徒数（1年）	54	46	52	46	45	243
	私立等中学校	1	3	3	2	5	14
	割合	1.8%	6.1%	5.5%	4.2%	10.0%	5.4%
富岡中	生徒数（1年）	111	117	119	132	108	587
	私立等中学校	2	0	2	1	6	11
	割合	1.8%	0.0%	1.7%	0.8%	5.3%	1.8%
須山中	生徒数（1年）	20	18	15	17	14	84
	私立等中学校	3	3	0	4	2	12
	割合	13.0%	14.3%	0.0%	19.0%	12.5%	12.5%
合計	生徒数（1年）	461	447	468	457	463	2,296
	私立等中学校	20	21	11	26	17	95
	割合	4.2%	4.5%	2.3%	5.4%	3.5%	4.0%

じゃあ、どうしたらいい

令和元年度 第三者機関として  
裾野市の教育のあり方検討委  
員会を立ち上げました。

## 教育のあり方検討委員会 委員の構成

No.	選出区分	備考
1	学識経験者（静岡大学教授）	委員長
2	学識経験者	副委員長
3	学識経験者	
4	幼稚園保護者の代表者	
5	中学校保護者の代表者	
6	小学校保護者の代表者	
7	中学校教員の代表者	
8	小学校教員の代表者	
9	公募（市民委員）	
10	公募（市民委員）	

令和2年3月

裾野市の教育のあり方検討委員会から**提言書**が出され、

**3つの再編案**が示されました。

# 【再編案Ⅰ】 (行政区ベース案) コミュニティ重視型

地区	小学校	中学校	⇒	再編(案)	学校数	学級数	
東	東小 向田小	東中			・東小と向田小の統合	小1	東(向田)小 23
						中1	東中 12
西	西南小 南小	西中			・現状維持	小2	西南小 24 南小 12
						中1	西中 16
深良	深良小	深良中			・小中一貫校の新設 ・小規模特認校制度の導入	小中1	深良小 11 深良中 6
富岡	富一小 富二小 千福小	富岡中			・富二小・千福小：小規模特認校制度の導入	小3	富一小 19 富二小 6 千福小 6
			中1			富岡中 11	
須山	須山小	須山中		・小中一貫校の新設 ・小規模特認校制度の導入	小中1	須山小 6 須山中 3	

# ●小中一貫校

- 小学校と中学校の教育を統合した学校  
(施設一体型・施設併設型・施設分離型・義務教育学校等がある)
- メリット
  - ・中学校に上がる際のギャップが少なくなる
  - ・幅広い年齢層でのコミュニケーションが図られる
- デメリット
  - ・合わなかった場合に環境を変えづらい
  - ・小規模校の場合、9年間クラス替えの無い学校になる

# ●小規模特認校

- 学校選択制の一形態である「特認校制」のうち、小規模校において採用されている制度の通称
- 自然豊かな環境の小規模校の良さと、地域の特色を活かした教育環境で学びたいという希望者に対して、一定の条件の下、入学を認める制度。

## 【現状】

- 小規模校であることに変わりはなく、複式学級の学校もある。



## 【再編案Ⅱ】（中学校大規模統合案）

地区	小学校	中学校		再編（案）	学校数	学級数
東	東小 向田小	東中	⇒	・東小と向田小の統合	小1 中1	東(向田)小 23 東中 12
西	西南小 南小	西中		・現状維持	小2 中1	西小 24 南小 12 西中 16
深良	深良小	深良中		・小学校は現状維持 ・3中学校を統合し（仮称）北中学校を新設（深良中・富岡中・須山中）	小5 中1	富一小 19 富二小 6 千福小 6 深良小 11 須山小 6 (仮)北中 16
富岡	富一小 富二小 千福小	富岡中				
須山	須山小	須山中				

# 【再編案Ⅲ】（単学級解消案）1学年2学級以上型

地区	小学校	中学校		再編（案）	学校数	学級数
東	東小 向田小	東中	⇒	・東小と向田小を統合	小1 中1	東(向田)小 23 東中 12
西	西南小	西中		・現状維持	小2 中1	西南小 24 西中 12 西中 16
深良	深良小	深良中		・小中一貫校の新設 ・小規模特認校制度の導入	小中1	深良小 11 深良中 6
富岡	富一小 富二小 千福小	富岡中		・富一小と千福小を統合 ・富岡中と須山中を統合	小1 中1	富一(千)小 23 富(須)中 13
須山	須山小	須山中		・須山小と富二小を統合	小1	須(富二)小 6

提言書は3案ですが、市として、考え方を1つ示す必要があります。

市の計画（考え方）がなければ、賛成も反対もないと思います。

# 富岡地区の学校再編の可能性

## 【小学校】

- 富一小：現状維持又は受入校
- 富二小：存続又は統合
- 千福が丘小：存続又は統合

# 富岡地区の学校再編の可能性

## 【中学校】

- 富中は、現状維持又は富中が中心となった中学校の統合

# 富岡の意見交換会での声：

- I. 幼稚園・保育園
- II. 小学校①②
- III. 中学校
- IV. 富岡地区

# Ⅰ. 幼稚園・保育園

- スクールバス等検討しているのか？
- 具体的な通学方法について示してもらわないと判断できない。
- 送迎車の動線も考える必要がある。
- 海外では、少人数のクラスを推奨している国もある。

## II. 小学校①

- 通学方法の具体策を？
- 地域のコミュニティを残す必要ある
- 母校が他校と統合するのは寂しい
- 複式学級は避けたいが、通学は心配
- 小規模校から中学で大規模校になりなじめない子もいる



## II. 小学校②

- 自身、複式学級を経験、特に不自由は無かった。
- 複式になると先生の負担は大きい？
- 異学年学級のメリットあるのでは。海外で実績がある。
- 通学の確保が可能なら統合ありでは

# III. 中学校

- 心配は通学方法、親の負担も考慮必要
- 少子化は明らか統合を考える必要ある
- 校舎の老朽化も顕著、中学の建て替を  
お願いしたい。
- 小規模校は人間関係の固定化が親にも  
ある、PTA役員等の回りも早い

## IV.富岡地区

- 自身は複式学級の経験者、悪いイメージはない。
- 義務教育は生徒の取りこぼしがあってはならない。
- 再編に合わせて通学に係るインフラ整備も重要。
- 参加者が少ないことがすごく残念。59

# 仮に 富二小・千福小を 再編する場合の課題

①通学距離の問題

②子どもたちの心のケアの問題

# ①通学距離の問題

- スクールバス等の対応

- 通学路の整備を進める

## ②子ども心のケアの問題

- 統合前から、交流を進める
- 統合前の学校から、なるべく多くの教員を異動させる

# 仮に 富岡中を中心とした 中学校再編の場合の課題

- ①通学距離の問題
- ②子どもたちの心のケア・受験対策
- ③老朽化した校舎の問題

# ①通学距離の問題

- スクールバス等の対応
- 通学路の整備を進める



## ②子どもたちの心のケア、受験対策

- 統合前から、交流を進める
- 統合前から、同じ試験を受ける
- 統合前の学校から、なるべく多くの教員を異動させる

### ③老朽化した校舎の問題

- 統合を機に、建替又は長寿命化改修による整備
- 学校数が減ることにより、投資が集中できる

皆さんのご意見を

お聞かせください。

これまでの経過は↓こちら



アンケート

本日まで意見いただけなかった方は↑こちらのQRコードからアクセスしていただき、ご回答ください。